

伊丹ユネスコ



2023年3月

No.74

就任のごあいさつ

伊丹ユネスコ協会会長 佐藤 由紀子

昨年5月に荘司幸子会長（現名誉会長）の後任として会長に就任いたしました佐藤由紀子と申します。ほぼ1年が経ちました。その間活動を通して多くのことを学び、今、ユネスコ協会の活動の大切さを噛み締めているところでございます。皆様方には、平素からたくさんのご理解ご支援、ご協力を頂いていることに対し、心からお礼申し上げます。



さて、私は昨年末、多文化共生事業の一環で開催された市主催の「外国人の(やさしい)日本語スピーチ大会」に出向き、日本（伊丹）で生活する多様な外国人のお話を聞く機会を得ました。その中に、中国で日本語の先生をしている中国人の方のスピーチがありました。プレゼンテーションで、中国の教室の様子が映し出され、壁には「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」と、筆で大書した掲示物がありました。日本の作家井上靖の言葉です。この方が大切にしている言葉だそうです。私は少なからずショックを受けました。名言・格言が山ほどある中国で、教室に日本の井上靖の言葉が掲げられているとは…。人は国という垣根を安々と越え、心が通い合い繋がり合えるものだというを私は再認識しました。そうだ、この力だ！この力こそがウクライナの戦争を終結できるのだ。人と人とが信じ合い、大切に思い合う「心の力」以外に収束の道はない！そう思いました。

ユネスコ憲章前文にも「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」と謳われています。私はこの精神が少しでも多くの人々の心に届き、世界平和の実現に繋がるよう望みます。

伊丹ユネスコ協会は今年度創立40周年を迎えることができました。コロナ禍ではありますが、ユネスコ日本語教室、英会話同好会、書きそんじハガキ・キャンペーン、平和の鐘カリヨンコンサート等の取り組みを続けています。また3年ぶりに、対面で実施できた総会、バザール出店、アースデイいたみ等の活動もできたことに安堵しております。中でも主管となり、東りいたみホールで小西新右衛門様にご講演頂いた「第41回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業」の取り組みは皆様から好評頂き、今後の活動の励みとなりました。

本協会の活動はすべて、会員の皆様のご支援と、伊丹市を始め各行政機関、各ユネスコ協会ほか諸団体のご指導ご協力によるものと深く感謝しております。

今後も引き続き、本協会の諸活動にご支援を賜りますようお願いいたします。

第41回 阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業

2022.10.12 東りいたみホール 中ホール



新型コロナウイルス感染禍2年間開催出来なかった合同事業でしたが、細心の予防対策を行って、130人の参加者を迎えての開催になりました。令和2年度に～「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ醸造地 伊丹と灘五郷～ が日本遺産に認定され、それをテーマにした講演会でした。講演に先立ち伊丹市職員の立花裕也さんから日本遺産に認定された経緯・概要等の説明があり、その後、小西酒造株式会社 代表取締役社長・伊丹ユネスコ協会顧問 小西新右衛門さんが講演されました。

小西酒造株式会社は創業470年以上の歴史・伝統を持ち、現在醸造の名酒「白雪」は清酒として最古の歴史を持っているそうです。第15代「小西新右衛門」を襲名された小西社長は「私の特徴は声大きいことと時間通りに話しを終えることなんですよ」と、笑いもとりながら、「伊丹諸白」や六甲山の恵みと丹波杜氏が生んだ「灘の生一本」「下り酒」「樽廻船」、そして酒造家が育んだ文化等について分かりやすくご講演下さいました。

参加者には小西酒造さんのご厚意で白雪ブルーリービレッジ長寿蔵の飲食割引券が配布されました。利用期間が10月中だったので皆様楽しまれたことと思います。

第41回 2022年度伊丹ユネスコ協会総会

2022.5.24 伊丹アイフォニックホール 小ホール

本年度の総会は、新型コロナウイルス感染防止を考慮しつつ対面で、粛々と議案審議のみが行われました。

伊丹市長 藤原保幸様からお祝いメッセージをいただき、同和・人権・平和課（併）人権教育室 中井秀典課長様が代読され、ごあいさつをいただきました。2021年度事業報告・会計決算報告・会計監査報告はそれぞれ承認され、続いて、2022年度事業議案の審議を行いました。会則の改正について・役員改選について・事業計画（案）・会計予算（案）等が承認されました。役員改選では、佐藤由紀子が新会長に、莊司幸子が名誉会長に選任されました。

2019年度までは第二部として、ミニコンサートや講演会を行ってきましたが、今年度は見送りました。早くコロナ禍が終息され、会員の皆様と共に平和を願って活動できることを期待しております。

2022～2023年度 伊丹ユネスコ協会役員

顧問	小西	新右衛門
〃	藤原	保幸
名誉会長	莊司	幸子
会長	佐藤	由紀子
副会長	河石	紀美枝
〃	恩塚	百合子
会計	有馬	暁美
理事	安藤	黎子
〃	田淵	眞理
〃	吉岡	喜久子
監事	宮井	明子
〃	湯浅	順子

哀悼

竹内 道子さん（元理事）

2022年5月5日ご逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

2022近畿ブロックユネスコ活動研究会 in 舞鶴

2022.11.5 舞鶴市商工観光センター

今、そして明日の地球に生きる～つなぐ 広げる 未来のために今、何をしなければならないか～
を開催テーマに約180名が参加しました。

特別報告「引き揚げの町 舞鶴から」～引き揚げの記憶遺産を未来につなぐ～

2015年にユネスコの世界記憶遺産に登録された舞鶴引揚記念館（1945－1956シベリア抑留等日本人の本国への引き揚げ記録資料のうち570点が登録）には学生語り部がいます。シベリア抑留経験者より託された「記憶」を若者たちが受け継ぎ史実を伝える活動です。過酷な状況を生き抜き傷付いた引揚者の苦難の歴史、当時の舞鶴の人々の精一杯のおもてなしなどを伝えています。報告する語り部ボランティアの中学生・高校生は全員はきはきと気持ちの良い発表をしていました。平和の尊さに改めて思いを馳せ、学生語り部さんの活躍に感動しました。

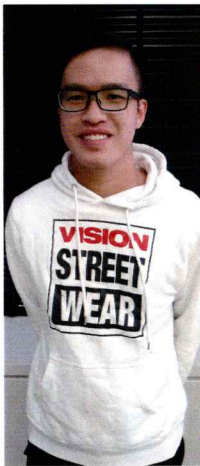
午後からは4つの分科会に分かれて意見交換、活動報告など意義深い学習会となりました。お昼にいただいたお弁当の包み紙に舞鶴が「肉じゃが」誕生の地とあり、それも初めて知りました。



外国人の（やさしい）日本語スピーチ大会

2022.12.18 伊丹市立図書館「ことば蔵」

日本（伊丹）で生活する多様な外国人のお話を聴き、異文化理解を深める催しがありました。8名の発表者がそれぞれに熱弁を振りました。ユネスコ日本語教室からはネパールのゴーダムハリパルサードさん、ベトナムのヴェンミンデュイさんが参加しました。ヴェンミンデュイさんの「日本の生活について」のスピーチを紹介します。



皆さん。こんにちは。私はデュイです。ベトナムから来ました。よろしくお願ひします。皆さん！悩みごとを持っていますか、持ったことがありますか。今日は私の悩みごとについて話します。

2年前に日本に来ました。最初、仕事になれるのに苦しかったです。そのとき、私の日本語が下手でした。聞きとれなかった。話せなかったです。日本語はじっさいと教材とはとても違います。先輩は私に仕事を教えるとき私にはぜんぜん分からなかったから、仕事がうまくいかなかったです。先輩が何回も怒った。私も何回も諦めたかったです。でも一生懸命頑張るとき何でも出来ると思います。それで頑張りました。人間は天気と似ていると思います。昨日ずっと雨でした。でも今日は天気がいいですね。人間も同じ、雨が止んだら空はきれい。現在、私は仕事が大丈夫です。

皆さん！諦めずに最後まで頑張ってください。はい、私のスピーチはここで終わります。おききいただいてありがとうございます。

第21回アースデイいたみ

2022.6.4 スワンホール（多目的ホール）

子どもたちの「アースデイ宣言」「アースデイソング」を3年ぶりに聞くことができました。

伊丹ユネスコ協会は、伊丹環境ネットワークに所属しSDGsを大切にして活動しています。



第18回 平和の鐘 カリヨンコンサート

2022.8.15 有岡城跡公園

カリヨン塔で、今野尚子さん、松村江梨子さん、吉岡千秋さんの3人のカリヨン奏者に平和を祈念して演奏して頂きました。（伊丹市国際・平和交流協会、伊丹ユネスコ協会、伊丹市の共催）

コロナ禍で感染防止のため昨年同様客席は設けず少し縮小しての開催でした。参加者は130名。伊丹市立伊丹高等学校の生徒さんの司会が最高に良かったです。カリヨン6回の打鐘で黙祷。続いて「イマジン」「にじ」「浜辺の歌」「テネシーワルツ」などが流れ、音色に心を癒されるひと時でした。

エンディングの「星に願いを」を聴きながら今日この日を感謝しました。



伊丹三軒寺前フリーマーケットに出店

2022.11.26 三軒寺前広場

コロナ禍で今年度も宮前まつりのバザールが見送られたため、11月26日（土）三軒寺前フリーマーケットに出店しました。時おり小雨も降りましたが、日本語教室の勉強を終えた生徒さん達も立ち寄って下さいました。

売上金は27,140円でした。これは「世界遺産活動、世界寺子屋運動」の活動支援として（公社）日本ユネスコ協会連盟に送金いたします。皆様のご支援ご協力、ありがとうございました。



新会員紹介

ご入会ありがとうございます(敬称略)

江原 礼子 太田 洋子
雀部 直子 仲 順也

寄付のお礼

日本フレックス工業株式会社様より
“SDGsの活動に尽力している団体に”と今年も37,865円のご寄附を頂きました。皆様の温かいお気持ちご厚意を持続可能な社会作りに活かしていきたいと思っています。深く感謝申し上げます。

書きそんじハガキ・キャンペーン

書きそんじハガキ、未使用切手、プリペイドカードでアジアの子どもたちの教育支援をするキャンペーンです。未使用の古いハガキや未使用切手を事務局又は役員までお寄せください。

今年度もたくさんの方々のご協力をいただき多額の支援をすることができました。ありがとうございました。

~~~~~  
収集ハガキ：26,112円分（手数料を差し引いて）  
未使用切手：79円（手数料を差し引いて）  
テレフォンカード：36枚

ご協力ありがとうございました。(2022年度)

- |                                      |         |
|--------------------------------------|---------|
| <input type="checkbox"/> ウクライナ緊急支援募金 | 30,000円 |
| <input type="checkbox"/> 世界寺子屋運動支援金  | 30,000円 |
| <input type="checkbox"/> 世界遺産活動支援金   | 30,000円 |

発行 伊丹ユネスコ協会

事務局 伊丹市同和・人権・平和課

〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地

TEL 072(784)8148 FAX 072(780)3519

ホームページ <https://www.unesco.or.jp/itami/>